

編集後記

鯨の特集號として三月號を發行した。別冊のリフレットと共に何かの参考となれば幸いです。

水産廳の高橋氏から二號に亘つて御投稿を得た。特に早急研究を要する漁業法丈に擔當者の一人としての氏の御意見は大いに反響を得ている。同じく加藤氏と共に厚く御禮を申し上げます。

然し新法は高橋氏も前號に書いてある通りなかく問題が多い。今後とも御質問に答えて同氏をはじめ讀者の御意見をよせたいと考えてをります。

相談室が日の浅いせいか、今號は技術相談室が欠けた。どんな御質問でも結構ですから編集室宛におよせ

下さい。執筆者の偏よつてゐるのがそろそろ目についてきている。

邊見氏から「春告魚の悲願」が出された。多忙を押ししての熱意には感謝致します。

江口氏から「鮭鱒魚類の俗名と方言」という研究が投稿されていたが都台から次號に掲載すること、致しました。御了承を乞います。

「支場巡り」は天鹽に入つた、この稿では岸田支場長に去月以來御手数をかけました。次號は渡島にまわる豫定です。

大分部外からの購入希望が増えってきました。前にお願ひした通り、實費で頒布すること、なりましたので豫約は一部五十圓、一年分六百圓を概算としてお預りしてをります。今

後の御希望は成る可く一年分豫約として下さる様希望します。

虹鱒の歴史が米國に始まつたことは豆辭典に紹介したが、この虹鱒卵が今春、終戦後初めて輸入されることゝなつた。五月頃には遙々と海を超えて一千万粒の卵が飛行機で送られて来る。先程の開いた北海道の水に衣鉢を繼ぐのゝ間もないであらう。

昭和廿五年三月十日發行
毎月十日刊行

札幌市外中の島

發行所 北海道水産孵化場

電話五三三五番

發行者 木村 錠 郎

札幌市南五條西六丁目

印刷所 岩淺商會印刷工場

電話六五九五番

鮭、鱒、紅鮭孵化盆、孵化槽、孵化枠、
受卵器、各種染料、アスファルト（流動）
テレピン油、塗料類、龜甲紗（卵搦用）
採卵海綿、標本瓶、卵子消毒藥各種
化學藥品、醫療藥品、鰾、鮎、鯉
等ノ 孵化枠 及 器具 一式

水産用孵化器製造元

山本勝見工作所

札幌市北三條東六丁目電停前

電話 フゴのフナ 二五二七番

振替小樽 三九七八番